



鎌田孝典議員

高齢者福祉

高齢者を支えるケアの確立を

セーフティネットの構築が必要

②現在、認知症の予防事業として北浜地区、大浦地区をモデルに地元自治会

の協力のもと、レクリエーションなどによる脳活性化教室や、老人クラブの健康教室や「お座敷広場」などに取り組んでいる。今後は「山田町保健福祉計画」及び「第三期介護保険事業計画」を平成十七年度に策定し、予防事業について検討していく考えである。

質問

①高齢者を支える安全網を構築する考えはないか。

②認知症の進行を防ぐため、症状の改善や、進行を遅らせる機能訓練など、家族の負担を軽減するためのプランは。

沼崎町長

①高齢者の生きがいを図るため民生委員、社会福祉

協議会の協力で、ひとり暮らし、高齢者世帯の見守りや声がけ運動を実施している。今後、高齢者世帯の安否確認などのセーフティネットの構築が必要と考えている。消防署などの関係機関と連携し、支援が必要で世帯の安否確認の体制づくりに努める。



若さを保ち、閉じこもりの防止と認知症を予防するため行われている脳活性化教室(北浜はつらつ教室)

町の考えを聞く

教育行政

体罰・わいせつ行為からどう守る

綱紀の保持と指導力向上を図る

質問 児童生徒を体罰・わいせつ行為からどう守るか。

松尾教育長 教員による不祥事が全国的、また県内でも問題になっているが、現在、本町ではそのような問題は発生していない。絶対起きてはならないことで、教職員の綱紀の保持と指導力向上を図るため、各種研修会を開催している。

具体的には、学校長を対象とした校長会議、教頭を対象とした学校運営研修会、

主任教員を対象とした教務主任・研究主任・生徒主事研修会、一般教員を対象とした授業研修会などを行っている。また、昨年から実施している「教育長学校訪問」で、教職員の綱紀粛正についての日常の取り組み状況について聞き取り調査を行っている。

学校・家庭・地域が一体となって気配りをし、児童生徒を被害から守ることがなにより大切である。みなさまの協力をお願いします。